

文書分類番号	00	09	03	002	永 年	起案	平成 年 月 日	決裁	平成 年 月 日
議 長	副議長	局 長	次 長	主 査	主 査	担 当	文書取扱主任		

第 44 回 厚 生 常 任 委 員 会 会 議 録

開催年月日	平成 22 年 11 月 24 日（水曜日）	開会 13 時 29 分	閉会 14 時 52 分
開催場所	第一委員会室		
出席委員	山口、荒木、渡辺、堀、酒井、堀田 議長、委員外～窪之内	事務局	中嶋事務局長
欠席委員	なし		寺嶋主査
説明員	別紙のとおり		議 件
議 事 の 概 要	1 所管からの報告事項について		
	次の事項について所管から説明を受け、質疑を行い、すべて報告済みとした。		
	(1) 条例改正について		
	(2) 平成 22 年度滝川市病院事業会計補正予算について		
	(3) 平成 22 年度滝川市一般会計補正予算について		
	(4) 滝川市救急医療情報キットの配布について		
	(5) 平成 22 年度国民健康保険特別会計補正予算について		
	(6) 平成 22 年度滝川市一般会計補正予算について		
	(7) 76 歳以上の高齢者の実態調査結果について		
	(8) 戸籍における 100 歳以上の高齢者消除の調査状況について		
	(9) パスポートの発給申請受理及び交付事務について		
	(10) 平成 22 年度滝川市一般会計補正予算について		
	(11) 平成 22 年度まちづくり市民会議の開催日程について		
	(12) 「未来へつなぐ市民税 1 %事業」の審査結果について		
	(13) 北興化学公害防止対策協議会の開催結果について		
	(14) 滝川市環境基本計画に基づく年次報告書の作成及び公表について		
	(15) 石狩川流域下水道におけるし尿等共同処理について		
	2 第 4 回定例会以降の調査事項について		
	別紙調査事項のとおりとすることに決定した。		
	3 その他について		
	なし。		

議 事 の 概 要	4 次回委員会の日程について
	正副委員長に一任することとした。
上 記 記 載 の と お り 相 違 い ない。 厚生常任委員長 山 口 清 悦 ㊞	

平成22年11月22日

滝川市議会議長 中 田 翼 様

滝川市長 田 村 弘

厚生常任委員会への説明員の出席について

平成22年10月28日付け滝議第119号で通知のありました厚生常任委員会への説明員の出席要求について、次の者を説明員として出席させますのでよろしくお願いします。

なお、公務等の都合により出席を予定している説明員が欠席する場合がありますので申し添えます。この場合、必要があるときは、所管の担当者を出席させますのでよろしくお願いします。

記

滝川市長の委任を受けた者

総務部企画課長	中 島 純 一
総務部企画課主査	稲 井 健 二
市民生活部長	西 村 孝
市民生活部次長	伊 藤 克 之
市民生活部くらし支援課長	深 瀬 文 彦
市民生活部くらし支援課主幹	樋 郡 真 澄
市民生活部くらし支援課副主幹	大 本 神 威
市民生活部くらし支援課副主幹	山 川 弘 己
市民生活部くらし支援課主査	原 田 瑞 絵
市民生活部くらし支援課主査	橋 本 英 昭
市民生活部くらし支援課主査	伊 藤 貴 寛
市民生活部くらし支援課主査	運 上 琢 論
市民生活部くらし支援課まちづくりセンター副主幹	千 葉 豊
市民生活部市民課長	榎 木 康 人
市民生活部市民課主幹	寺 崎 りえ子
市民生活部市民課副主幹	杉 原 慶 紀
市民生活部市民課副主幹	菅 原 正
市民生活部市民課副主幹	佐 藤 之 俊
市民生活部市民課主査	越 前 智香子
市民生活部市民課主査	金 子 和 史
保健福祉部長	橋 弘 恭
保健福祉部次長	佐々木 哲
保健福祉部子育て応援課主任主事	高 橋 美智子
保健福祉部介護福祉課長	菊 井 弘 志
保健福祉部介護福祉課主幹	渡 辺 多 恵
保健福祉部介護福祉課副主幹	米 澤 敬 子

市立病院事務部長
市立病院事務部次長

東 照 明
鈴 木 靖 夫

(総務部総務課総務グループ)

第44回 厚生常任委員会

H22. 11. 24(水) 13:30～
第一委員会室

○開 会

○委員長挨拶（委員動静）

1. 所管からの報告事項について

《市立病院》

- | | |
|-----------------------------|------------|
| (1) 条例改正について | (資料) 事 務 課 |
| (2) 平成22年度滝川市病院事業会計補正予算について | (資料) 〃 |

《保健福祉部》

- | | |
|---------------------------|-------------|
| (3) 平成22年度滝川市一般会計補正予算について | (資料) 子育て応援課 |
| (4) 滝川市救急医療情報キットの配布について | (資料) 介護福祉課 |

《市民生活部》

- | | |
|------------------------------------|-------------|
| (5) 平成22年度国民健康保険特別会計補正予算について | (資料) 市 民 課 |
| (6) 平成22年度滝川市一般会計補正予算について | (資料) 〃 |
| (7) 76歳以上の高齢者の実態調査結果について | (資料) 〃 |
| (8) 戸籍における 100 歳以上の高齢者消除の調査状況について | (資料) 〃 |
| (9) パスポートの発給申請受理及び交付事務について | (資料) 〃 |
| (10) 平成22年度滝川市一般会計補正予算について | (資料) 暮らし支援課 |
| (11) 平成22年度まちづくり市民会議の開催日程について | (資料) 〃 |
| (12) 「未来へつなぐ市民税1%事業」の審査結果について | (資料) 〃 |
| (13) 北興化学公害防止対策協議会の開催結果について | (資料) 〃 |
| (14) 滝川市環境基本計画に基づく年次報告書の作成及び公表について | (資料) 〃 |
| (15) 石狩川流域下水道におけるし尿等共同処理について | (資料) 〃 |

2. 第4回定例会以降の調査事項について～別紙

3. その他について

4. 次回委員会の日程について

○閉 会

第 44 回 厚生常任委員会

H22. 11. 24(水) 13 時 30 分

第一委員会室

開 会 13:29

委員動静報告

委員長 議長出席。全員出席。委員外～窪之内。プレス空知、道新の傍聴を許可する。

1 所管からの報告事項について

(1) 条例改正について

鈴木部次長 (別紙資料に基づき説明する。)

委員長 説明が終わった。議案関連なので留意願う。質疑はあるか。

酒 井 ① 改正後の病院の使用料について、安くなるということで非常によいことだと思うが、近隣の病院との比較ではどうなっているのか伺う。

② 病院の中で個室にせざるを得ない場合は、差額料金を取っていないと思う。こうした場合も含めて部屋を確保する必要があると思うが、対策を考えているのか伺う。

鈴木部次長 ①② もちろん他市の状況は調べている。砂川市では、2,625 円と 2,100 円の 2 タイプということで設定している。他市では高いところもあるが、安く設定しているところもある。滝川としては砂川と何かと比較されるようなことも考慮して、現行よりも安くすることで利用促進を図りたいということで今回の料金に設定したいと考えている。特別室として設定されている部屋以外にも個室は全体で 70 室あるので十分確保されており、場合によっては病状により病院の都合で個室に入れるということもあると思う。

委員長 他に質疑はあるか。

窪之内委員外議員 特別室の備考欄にはこれしか書いていないが、特別室の中でインターネットを使用することができるような整備がされているのか伺う。

鈴木部次長 各特別室における備品等の設備の内容について説明させていただく。1 日につき 5,000 円の部屋である A 室の備品としては、ソファベッド、キャビネット、テーブル、いす、テレビ、冷蔵庫等を配置したいと考えている。B については、いす、テレビ、冷蔵庫というような床頭台のシステムを考えている。C については、トイレがついていないが、備品としては B と同じようなものを配置することで考えている。インターネットを利用できるような環境では考えていない。

委員長 他に質疑はあるか。(なし) (1) については報告済みとする。(2) について説明願う。

(2) 平成 22 年度滝川市病院事業会計補正予算について

鈴木部次長 (別紙資料に基づき説明する。)

委員長 説明が終わった。議案関連なので留意願う。質疑はあるか。

副委員長 監視業務というのは、夜警とか電話交換ということなのか伺う。

鈴木部次長 新病院における空調関連機器関係の監視をするという業務なので、警備などの監視業務とは違う内容である。これは新病院において新たな業務になる。

委員長 他に質疑はあるか。

窪之内委員外議員 当初予算の移転費用から 1,938 万 5,000 円の増額補正ということだが、当初考えていたところとどこの部分が違って補正しなければならなかったのか伺う。

鈴木部次長 当初予算では、業者に請け負っていただく移転費用ということで 5,040 万 3,000

円を算定していた。結果的に日通との契約で移転費用が3,937万5,000円に確定した。当初の段階で医療機器等の購入、もしくは移設、廃棄といった不明瞭な部分があったので、今回そういった部分がある程度確定したということである。日通にはできない特殊なレントゲン機器の移設や検査機器の移設の関係などメーカーにお願いしなければならない部分の金額が、2,716万9,000円である。廃棄物についてもある程度廃棄ということが固まったので、その部分については324万4,000円を補正したいという内容である。

委員長

他に質疑はあるか。(なし)(2)については報告済みとする。(3)について説明願う。

(3) 平成22年度滝川市一般会計補正予算について

佐々木部次長
委員長

(別紙資料に基づき説明する。)

説明が終わった。議案関連なので留意願う。質疑はあるか。(なし)(3)については報告済みとする。(4)について説明願う。

(4) 滝川市救急医療情報キットの配布について

菊井課長
委員長
渡 辺

(別紙資料に基づき説明する。)

説明が終わった。質疑はあるか。

① 年度当初予算はどうだったのか。9月ころの地域懇談会で採用したらいいのではないかという話が出た。予算について説明願う。

② 無料の範囲はわかったが、それ以下の年齢でも有料ということを考えているのか伺う。

③ 町内会での申し込みということだが、町内会としての年齢を把握できる資料はどうなっているのか。記入などの指導も町内会で行うのか伺う。

菊井課長

① 薬剤師のほうからそれなりの資金援助をしたいということでスタートしている事業なので、予算は計上していない。9団体で協議して最終的に実施主体は社会福祉協議会にお願いをしたい。当初一斉に申し込みを受けるので滝川市と社会福祉協議会とでやるが、次年度については65歳になる方、75歳の夫婦世帯になる方ということで人数も限られているので、社会福祉協議会のほうに申し込みしていただきたいと考えている。

② 65歳以上の単身世帯、75歳以上の夫婦世帯以下の者についてはどうするかという点については、実施主体である社会福祉協議会とも協議しているが、64歳の方は申しわけないが無料とはならないので、200円から300円くらいの間で実費ということをお願いしたいと考えている。これについては100円均一で磁石が100円、ラミネートも100円ということで200円しかかからない。印刷費は別途かかるが基本的にはそんなに高価なものではないので、その辺については柔軟に対応していきたい。

③ 記入方法についても、配布時点で町内会の方にやっていただけると助かるが、実際は薬の名前などを書くようになっているので、自分で書けるのではないかと考えている。また、ケアマネージャーなどがいる方については指導したいと思っている。薬についても今院外処方薬をもらうときに説明書をいただけたらと思うが、それを袋と一緒にに入れていただければ、薬が変わったときに差しかえていただくことなども考えているので、そういうことも配布するときに案内したい。

委員長
酒 井

他に質疑はあるか。

① 対象者についてだが、65歳以上の単身世帯と75歳以上の夫婦世帯という

ことでねらいとしてはひとり暮らしの高齢者などということはわかるが、それ以外にも必要な方はいると思う。例えばそうした介護サービスなどを受けていない70歳くらいの方などは、一番見逃されやすいのではないかな。そういう意味で対象者がなぜこのような形になったのか伺う。

② 先ほど対象外の方については実費で考えているとの答弁があったが、そうしたことも含めて滝川市としてどのように普及させることを考えているのか伺う。

③ 申し込み方法については、個人または町内会の取りまとめとのことだった。うまくいっている町内会はいいが、そうでないところではなかなか難しいと思う。そうすると漏れてしまったところは個人になってしまう。例えば町内会の回覧などでこうしたものがあるので利用者の方は手を挙げてくださいと回しても、お年寄りの方で手を挙げる方はなかなかいない。そうすると町内会長なり、係の方が1軒1軒回るとなって大変だと思う。その辺も含めてどのように考えているのか伺う。特に個人でやらざるを得なくなったという方は、自分で本当に必要と考えなければいけないと思う。そうすると絵にかいた餅に終わってしまい、石狩市などでは無料配布した結果、使われていなかったところもあったということだが、そういうことも含めて市としてどのように考えているのか伺う。

菊井課長

① 対象者についての協議はした。家族の方がいれば何らかの情報を得られるのではないかなという話もあったが、おおむね高齢者と言われている65歳以上の単身者、また、75歳以上になると夫婦世帯でどちらも高齢ということもあり、75歳以上であれば無料配布しようということ年度を設定したところである。

③ 町内会に回覧しても書けなかったという方もいらっしゃると思うが、市としても広報等でPRし、町内会で申し込みができなかったという方があれば、市や社会福祉協議会の窓口でも個人的に受付できるので、申し込んでいただければそのときにお渡しできると思っている。

② 今後の普及については、機会あるごとにPRしていくことを考えている。12月には市民懇談会も開かれると聞いているので、そういう席上でもPRして理解していただきたいと考えている。個人そのものもそうだが、周りにいる町内会の役員も含めてPRし、申し込んでいなければ予約していただくということも考えている。申し込みについて、年齢を当初生年月日でという話もあったが、個人情報の部分もあり基本的には65歳以上の単身世帯なのか、75歳以上の夫婦世帯なのかマルをつけていただいて区分して無料配布したいと考えている。

酒 井

医療情報キットをせっかく配布するとなれば、緊急隊員の方が入ったときにすぐに対応できるのが一番いいことだと思う。今の方式だと限られた方しかできないことになるのもったいないと思う。実費がかかっても安心として置いておきたいという方も必ずいると思うので、ぜひ広報以外でも大いにPRをしていただきたい。

委 員 長
堀

他に質疑はあるか。

これは非常にいいことだと思う。町内会においては、回覧にすると見ていただけない方が結構多いと思う。用紙代がかかるかもしれないが、1家族に1枚を渡して町内会で取りまとめるような形にしないと効果がないと思うので、その辺よろしく願います。

委 員 長

他に質疑はあるか。

窪之内委員外議員	今回は無料配布ということで、財源は薬剤師会からだが、来年度はそれぞれ該当する方は少ない。社会福祉協議会でそれを取り扱うと言ったが、その場合も無料ということで、クリアケースがもし破損して更新しなければならないような場合は有料となるのか伺う。
菊井課長	次年度からは社会福祉協議会にお願いしており、予算的にもそんなにかかるものではないと理解している。破損した場合についてだが、自然的に壊れたものについては社会福祉協議会と協議して申し込みの際にその辺も明記して周知していきたい。
委員 長	他に質疑はあるか。(なし)(4)については報告済みとする。(5)について説明願う。 (5) 平成 22 年度国民健康保険特別会計補正予算について (別紙資料に基づき説明する。)
榎木課長 委員 長	説明が終わった。議案関連なので留意願う。質疑はあるか。(なし)(5)については報告済みとする。(6)について説明願う。 (6) 平成 22 年度滝川市一般会計補正予算について (別紙資料に基づき説明する。)
榎木課長 委員 長	説明が終わった。議案関連なので留意願う。質疑はあるか。(なし)(6)については報告済みとする。(7)、(8)について一括説明願う。 (7) 76 歳以上の高齢者の実態調査結果について (別紙資料に基づき説明する。)
寺崎主幹	(8) 戸籍における 100 歳以上の高齢者消除の調査状況について (別紙資料に基づき説明する。)
寺崎主幹 委員 長 酒 井	説明が終わった。質疑はあるか。 ① 76 歳以上の高齢者の実態調査結果では全員の所在を確認したということだが、介護福祉課情報や実態調査による確認では、直接面接したり、サービスを受けていることを確認したりということではっきりするが、民生委員情報により確認、他課等連携により確認という部分について、もう少し詳しく伺う。
寺崎主幹	② 関係部署との関係を強化したとのことだが、具体的にどのようなことをしたのか。また、今後の方針として、具体的にどのように強化していくのか伺う。
委員 長 渡 辺	① 民生委員も独居老人や高齢者の各家庭訪問を毎年行っている。今回このような事態があり、すべて対面してお話ししたと聞いている。他課等連携についても、町内会長をされている方や職員の親族という方もおられた。税務課等との自宅訪問により確認ができたものもある。
寺崎主幹	② 当初から関係部署との連携ということで行っていたところだが、さらに今回はこれを受けて連絡票等をつくり、税務課であれば納付書、催告書を届けにいくときに実態を確認していただき、実際にそこに住んでいないことが確認できた場合は、連絡票に詳細を記入して市民課へ回付していただいている。ほかの部署でも同じように連絡していただくことを考えている。
委員 長 渡 辺	他に質疑はあるか。
寺崎主幹	100 歳以上の高齢者の件で、調査中の 30 名について他市町村へ照会中ということだが、もう少し詳しい内容について伺う。
寺崎主幹	高齢者消除の対象となっている方は、既に 100 歳を超えている方なので親族もかなり高齢になっており、滝川市にすべて戸籍があるとは限らない。例えば高齢者の方の兄弟を探すとすると、滝川が開基 120 年なので 100 年以上前くらい

に滝川に移住してきた人がほとんどなので、まず北海道に来る前の戸籍を取り寄せ、兄弟等が今どうなっているかを調査する。そこから亡くなっているとかほかに戸籍が移っている方もいるので、一人一人親族に当たる方を追跡していかなければならない。親族が多ければ多いほど調査にかかる日数もふえる。一番近い方がなくなっていることがわかれば、その子供、対象者から見て孫、めい、おいごなど三親等以内くらいの方をすべて調査をしなければならない。また、戸籍の請求も一括して一度にできるのではなく、一たん請求して戻ってきた内容を見てまたそれぞれの市町村に照会をかけるため、すべての生存している親族を調査し終わるのに2カ月、3カ月かかる場合もある。そこから本人に連絡をとらなければならないということになるので、そういった方がまだこれだけ残っているということである。

委員長

他に質疑はあるか。(なし)(7)、(8)については報告済みとする。(9)について説明願う。

(9) パスポートの発給申請受理及び交付事務について

寺崎主幹

(別紙資料に基づき説明する。)

委員長

説明が終わった。質疑はあるか。(なし)(9)については報告済みとする。所管入れかえのため若干休憩する。

休 憩 14:27

再 開 14:33

委員長

休憩前に引き続き会議を再開する。(10)について説明願う。

(10) 平成22年度滝川市一般会計補正予算について

深瀬課長

(別紙資料に基づき説明する。)

委員長

説明が終わった。議案関連なので留意願う。質疑はあるか。(なし)(10)については報告済みとする。(11)について説明願う。

(11) 平成22年度まちづくり市民会議の開催日程について

深瀬課長

(別紙資料に基づき説明する。)

委員長

説明が終わった。質疑はあるか。(なし)(11)については報告済みとする。(12)について説明願う。

(12) 「未来へつなぐ市民税1%事業」の審査結果について

千葉副所長

(別紙資料に基づき説明する。)

委員長

説明が終わった。質疑はあるか。

渡 辺

盆踊りを事実上町内会やその他の団体が実施するときの主な費用について、雑費は要と思うが、予算の大半は子供などへの景品である。景品の内容には菓子、ジュースが含まれないとは限らない。来年に向けて盆踊りがたくさん出てくるとも予想されるが、その辺についてどう考えるか伺う。

千葉副所長

補助の対象項目から飲食費、景品に関するものは一切対象外となっているので、盆踊り等についてそのような費用は補助の対象には入っていない。事業としては実施しているが、対象外経費として扱っている。

委員長

他に質疑はあるか。(なし)(12)については報告済みとする。(13)について説明願う。

(13) 北興化学公害防止対策協議会の開催結果について

深瀬課長

(別紙資料に基づき説明する。)

委員長

説明が終わった。質疑はあるか。(なし)(13)については報告済みとする。(14)について説明願う。

- 橋本主査
委員 長
酒 井
- (14) 滝川市環境基本計画に基づく年次報告書の作成及び公表について
(別紙資料に基づき説明する。)
- 説明が終わった。質疑はあるか。
- リサイクル率などが下がっていたり、省エネモニターでも電力量はわずかな増であつたりと基本的には横ばいである。そういった面では落ち着いてしまった感がある。次年度以降、さらに滝川市の環境都市としてのやり方をフィードバックしてやっていく必要があると思うが、こうした結果を見てどのように感じているのか伺う。
- 橋本主査
- 実績的には横ばい状態にあるとの指摘だが、そうした客観的評価を滝川市環境市民委員会の委員に指摘いただいた上で、評価に加えて提言という形で今後はこういうことをやっていったらいいのではないかということで、例えば省エネモニターの方法や環境学習リーダー養成講座の中身についても、もっと参加者が達成感を得られる仕組みをつくってはどうかという提言もいただいている。省エネについて言えば、省エネビジョンの策定も昨年から引き続き、どうすれば効果が上げられるか具体的な技術の検討も進めているところなので、なるべく数字で見える形で成果を上げられるように努力していきたい。
- 委員 長
- 他に質疑はあるか。(なし) (14) については報告済みとする。(15) について説明願う。
- (15) 石狩川流域下水道におけるし尿等共同処理について
(別紙資料に基づき説明する。)
- 運上主査
委員 長
- 説明が終わった。質疑はあるか。(なし) (15) については報告済みとする。
- 委員 長
- 2 第4回定例会以降の調査事項について
別紙のと通りの調査項目で調査をすることでよいか。(よし) 第4回定例会以降の調査事項は別紙のとおりとする。
- 委員 長
- 3 その他について
委員から何かあるか。(なし) 事務局から何かあるか。(なし)
- 委員 長
- 4 次回委員会の日程について
次回委員会は、正副委員長に一任いただくことでよいか。(よし) 以上をもって第44回厚生常任委員会を閉会する。

閉 会 14:52